

## (5) 死産

死産数は1,393胎で、前年より18胎増加した。

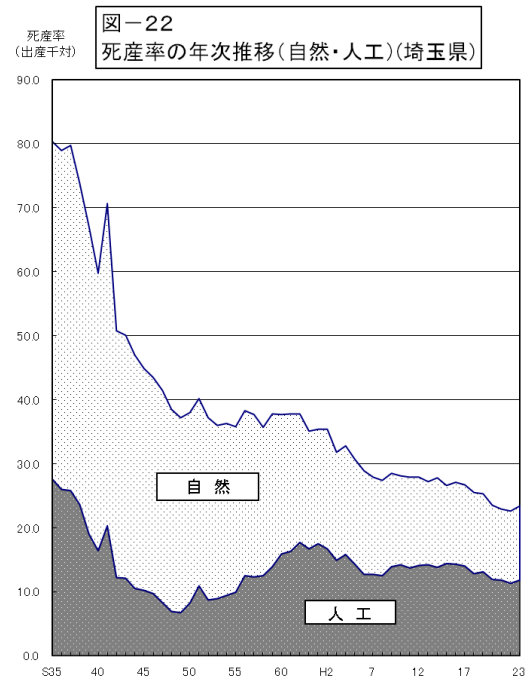
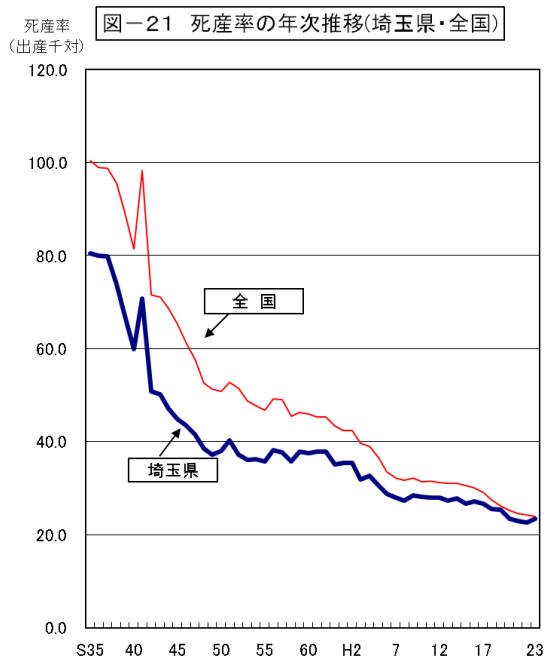
死産率は、出産千人(胎)に対し23.4で前年の22.6を0.8ポイント上回った。全国(23.9)を0.5ポイント下回っている。

また、死産の内訳をみると、自然死産は704胎で前年より14胎増加し、人工死産は689胎で4胎増加した。

表－２２ 死産数及び死産率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	21	22	23	
死産	数	埼玉県	3 794	4 237	4 277	3 795	2 792	2 630	2 324	1 944	1 907	1 637	1 400	1 375	1 393
		全国	179 281	161 617	135 095	101 862	77 446	69 009	53 892	39 403	38 393	31 818	27 005	26 560	25 751
	率	埼玉県	80.4	59.8	44.8	38.0	35.8	37.6	35.4	27.9	27.9	26.7	22.9	22.6	23.4
		全国	100.4	81.4	65.3	50.8	46.8	46.0	42.3	32.1	31.2	29.1	24.6	24.2	23.9
（自然）	数	埼玉県	2 491	3 077	3 307	2 976	2 021	1 521	1 226	1 057	941	780	680	690	704
		全国	93 424	94 476	84 073	67 643	47 651	33 114	23 383	18 262	16 200	13 502	12 214	12 245	11 940
	率	埼玉県	52.8	43.4	34.7	29.8	25.9	21.8	18.7	15.2	13.8	12.7	11.1	11.3	11.8
		全国	52.3	47.6	40.6	33.8	28.8	22.1	18.3	14.9	13.2	12.3	11.1	11.2	11.1
（人工）	数	埼玉県	1 303	1 160	970	819	771	1 109	1 098	887	966	857	720	685	689
		全国	85 857	67 141	51 022	34 219	29 785	35 895	30 509	21 141	22 193	18 316	14 791	14 315	13 811
	率	埼玉県	27.6	16.4	10.2	8.2	9.9	15.9	16.7	12.7	14.1	14.0	11.8	11.3	11.6
		全国	48.1	33.8	24.7	17.1	18.0	23.9	23.9	17.2	18.1	16.7	13.5	13.0	12.8

注 率は出産(出生+死産)千対



## (6) 周産期死亡

周産期死亡数は255人(胎)で、前年より3人(胎)増加した。

周産期死亡率は、出産千人(胎)に対し4.4で前年より0.2ポイント上回った。年次推移をみると、長期的に低下傾向にある。全国は4.1であった。

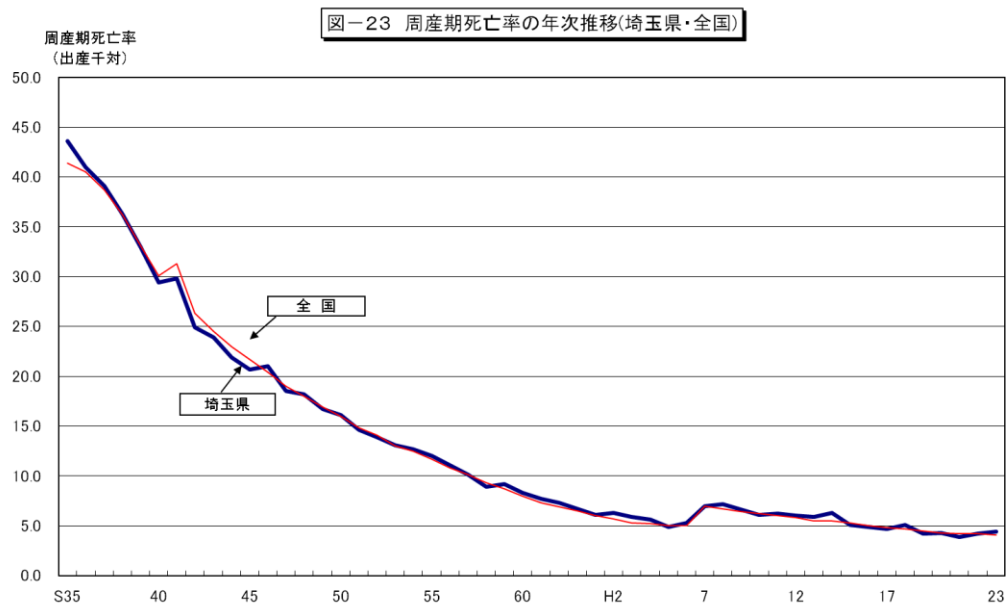
平成7年の上昇は、周産期死亡の定義が変わり、後期死産が「妊娠満28週以後」から「妊娠満22週以後」に改められたことに原因があるものと考えられる。

表－23 周産期死亡数及び周産期死亡率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	21	22	23	
周産期死亡	数	埼玉県	1 892	1 956	1 889	1 546	899	555	401	476	397	281	235	252	255
		全国	66 552	54 094	41 917	30 513	18 385	11 470	7 001	8 412	6 881	5 149	4 519	4 515	4 315
	率	埼玉県	43.6	29.4	20.7	16.1	12.0	8.3	6.3	7.0	6.0	4.7	3.9	4.2	4.4
		全国	41.4	30.1	21.7	16.0	11.7	8.0	5.7	7.0	5.8	4.8	4.2	4.2	4.1
後期死産	数	埼玉県	1 287	1 306	1 213	1 014	603	380	275	385	319	242	190	205	224
		全国	49 512	39 955	29 107	20 268	12 231	7 733	4 664	6 580	5 362	4 058	3 645	3 637	3 491
	率	埼玉県	29.6	19.6	13.3	10.6	8.0	5.6	4.3	5.7	4.8	4.0	3.2	3.4	3.8
		全国	30.8	21.9	15.0	10.7	7.8	5.4	3.8	5.5	4.5	3.8	3.4	3.4	3.3
早期新生児死亡	数	埼玉県	605	650	676	532	296	175	126	91	78	39	45	47	31
		全国	17 040	14 949	12 810	10 245	6 154	3 737	2 337	1 832	1 519	1 091	874	878	824
	率	埼玉県	13.9	9.8	7.4	5.5	3.9	2.6	2.0	1.3	1.2	0.7	0.8	0.8	0.5
		全国	10.6	8.2	6.6	5.4	3.9	2.6	1.9	1.5	1.3	1.0	0.8	0.8	0.8

注 周産期死亡率・後期死産率は出産(出生+後期死産数)千対である。

早期新生児死亡率は出生千対である。



## (7) 婚姻

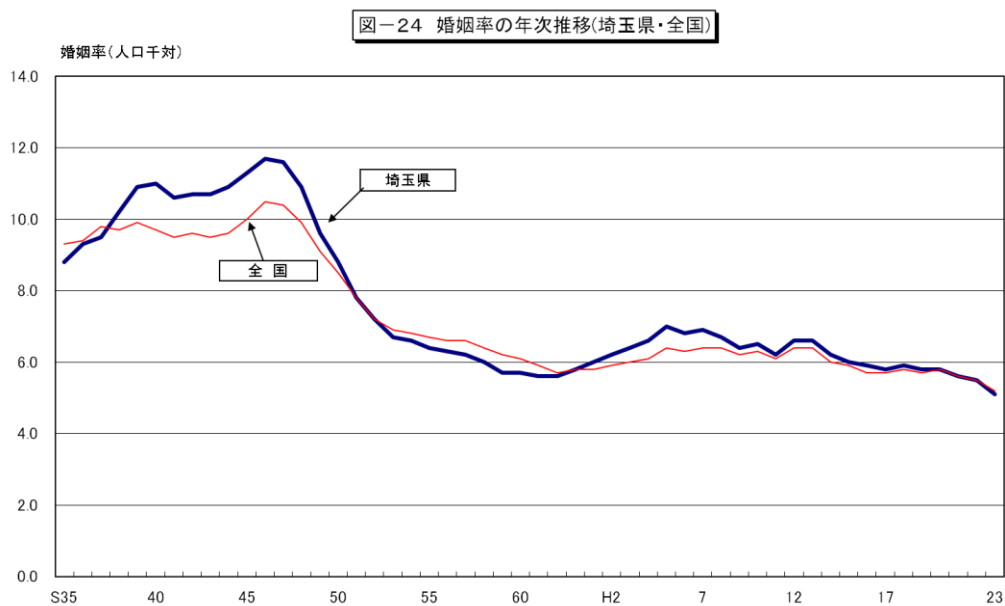
婚姻件数は36,227件で、前年の39,160件より2,933件減少した。

婚姻率は、人口千人に対し5.1で前年の5.5を0.4ポイント下回った。全国は5.2であった。

婚姻率の年次推移をみると、昭和46年の11.7をピークに低下し、昭和62年(5.6)をボトムに若干上昇したが、平成14年以降は低下傾向にある。

表－24 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

	S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	21	22	23
数													
埼玉県	21 485	33 131	43 517	42 340	34 708	33 446	39 234	46 224	45 636	40 486	39 399	39 180	36 227
全国	866 115	954 852	1 029 405	941 628	744 702	735 850	722 138	791 888	798 138	714 265	707 734	700 214	661 895
率													
埼玉県	8.8	11.0	11.3	8.8	6.4	5.7	6.2	6.9	6.6	5.8	5.6	5.5	5.1
全国	9.3	9.7	10.0	8.5	6.7	6.1	5.9	6.4	6.4	5.7	5.6	5.5	5.2

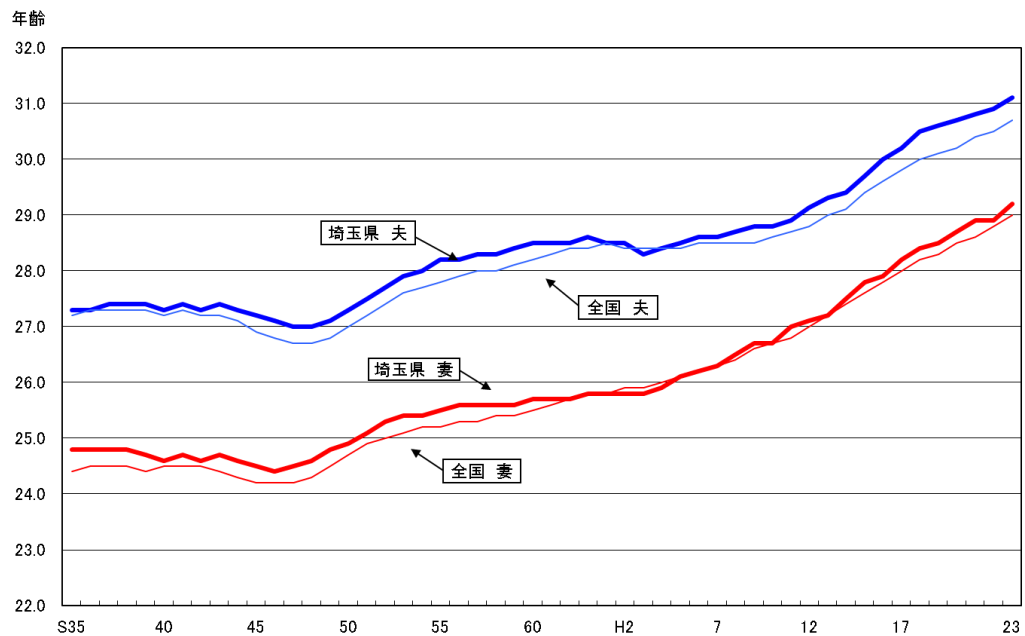


平均初婚年齢は、夫31.1歳、妻29.2歳で、前年と比べると夫が0.2歳上昇し、妻は0.3歳上昇した。

表－25 平均初婚年齢の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	21	22	23
夫	埼玉県	27.3	27.3	27.2	27.3	28.2	28.5	28.5	28.6	29.1	30.2	30.8	30.9	31.1
	全国	27.2	27.2	26.9	27.0	27.8	28.2	28.4	28.5	28.8	29.8	30.4	30.5	30.7
妻	埼玉県	24.8	24.6	24.5	24.9	25.5	25.7	25.8	26.3	27.1	28.2	28.9	28.9	29.2
	全国	24.4	24.5	24.2	24.7	25.2	25.5	25.9	26.3	27.0	28.0	28.6	28.8	29.0

図－25 平均初婚年齢の年次推移(埼玉県・全国)



## (8) 離婚

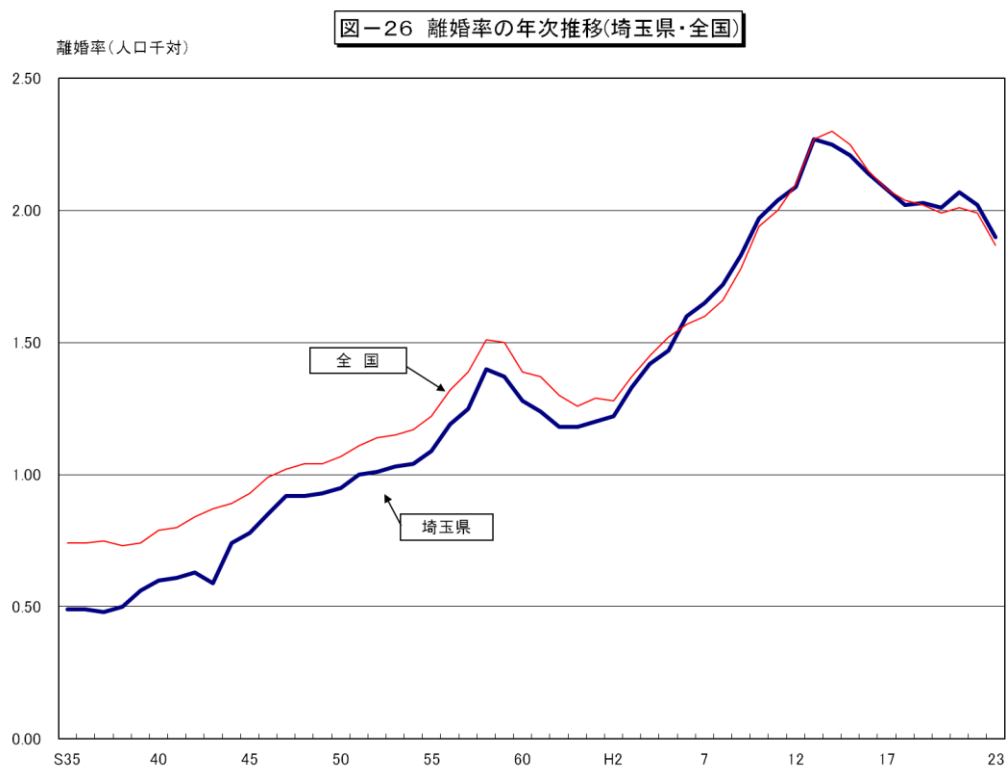
離婚件数は13,547件で、前年の14,325件より778件減少した。

離婚率は、人口千人に対し1.90で前年より0.12ポイント下回った。全国は1.87であった。

離婚率の年次推移をみると、昭和58年以降低下傾向にあったが、平成元年以降上昇に転じた。平成13年をピークに低下に転じ、平成21年は上昇したものの、平成22年以降再び低下傾向にある。

表一 26 離婚件数及び離婚率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	21	22	23
数	埼玉県	1 182	1 797	2 990	4 584	5 901	7 494	7 775	11 062	14 368	14 521	14 584	14 325	13 547
	全国	69 410	77 195	95 937	119 135	141 689	166 640	157 608	199 016	264 246	261 917	253 353	251 378	235 719
率	埼玉県	0.49	0.60	0.77	0.95	1.09	1.23	1.22	1.65	2.09	2.08	2.07	2.02	1.90
	全国	0.74	0.79	0.93	1.07	1.22	1.39	1.28	1.60	2.10	2.08	2.01	1.99	1.87



### (9) 合計特殊出生率

合計特殊出生率は1.28で、前年の1.32を0.04ポイント下回った。全国は1.39であった。

平成16年（1.20）以降上昇傾向にあったが、平成23年は低下した。

母の年齢階級別にみると、15～44歳の年齢階級で低下傾向が見られる。

表－27 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

		平成2年	平成7年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
埼玉県	合計	1.50	1.41	1.30	1.24	1.23	1.21	1.20	1.22	1.24	1.26	1.28	1.28	1.32	1.28
	15～19	0.02	0.02	0.02	0.0261	0.0297	0.0276	0.0259	0.0255	0.0234	0.0234	0.0257	0.0217	0.0200	0.0198
	20～24	0.20	0.19	0.17	0.1711	0.1709	0.1645	0.1659	0.1617	0.1592	0.1545	0.1596	0.1491	0.1504	0.1344
	25～29	0.66	0.56	0.45	0.4330	0.4276	0.4134	0.3949	0.4071	0.4074	0.3974	0.3975	0.3917	0.4075	0.3981
	30～34	0.49	0.49	0.46	0.4250	0.4197	0.4148	0.4145	0.4216	0.4379	0.4444	0.4536	0.4656	0.4693	0.4600
	35～39	0.11	0.14	0.17	0.1641	0.1619	0.1670	0.1731	0.1835	0.1860	0.2042	0.2090	0.2209	0.2322	0.2298
	40～44	0.01	0.02	0.02	0.0189	0.0225	0.0241	0.0247	0.0246	0.0269	0.0302	0.0315	0.0348	0.0404	0.0401
	45～49	0.00	0.00	0.00	0.0005	0.0005	0.0006	0.0005	0.0007	0.0005	0.0010	0.0009	0.0006	0.0010	0.0010
全国	合計	1.54	1.42	1.36	1.33	1.32	1.29	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39

注 分母に用いた人口は「平成23年10月1日現在推計人口(5歳階級別総人口)」(総務省統計局)。

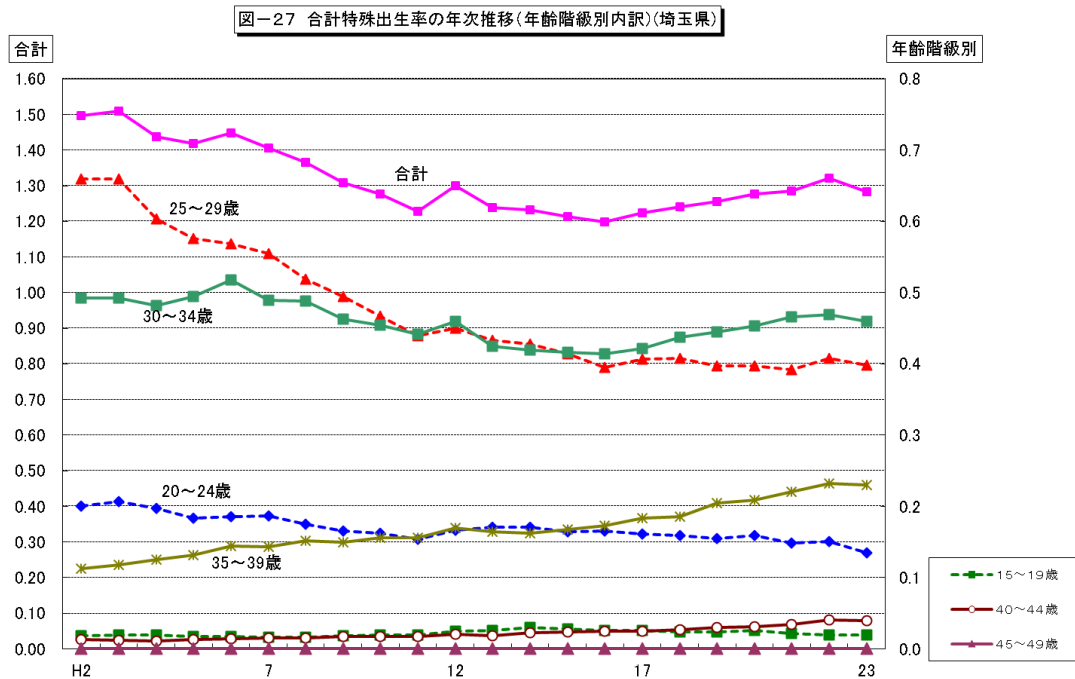


図-28 市町村別合計特殊出生率状況図

